

NO. 2330 【武奈ヶ岳】

2012年9月2日（日）曇時々晴

参加者：岡本（L、記）

<行程・時間>

9：45 坊村登山口→11：00 御殿山→11：30 武奈ヶ岳（昼食11：45発）
→11：55 尾根分岐→12：20 八雲ヶ原→12：40 北比良峠→13：35 大山口
→13：50 イン谷口→14：20 JR比良駅（所要時間4時間35分）

参加希望者がなく、結局単独行となってしまった。

8時50分のバス発車前になると、乗降口にかなりの登山客の列が出来る。この暑い時期でも休日ともなると、流石に登山客が多いなあ后感心する。バスはほぼ満員状態で出発し、平で約3分の1、残りの大半が坊村で下車した。登山口のある明押院に向かうと、パトカーが停車し登山客全員に登山届けを書かせている。今日はマイカーを含め、もうかなりの登山客が登っているとのことだ。

登山口から1,097mの御殿山までは殆ど景色の見えない樹林帯の道だ。最初から急な坂道が続くが、整備された道で比較的歩き易い。坊村と御殿山の標高差は約800mあるが、景色も見えないので適当に水分補給しながらただ黙々と歩くしか無い。

御殿山に着くと、正面に武奈ヶ岳が綺麗に見える。しかし、曇り空の為、今日は景色全体がくすんで見える。御殿山から少し下るとワサビ峠になる。ここから中峠、金糞峠へ抜ける道がある。ワサビ峠を過ぎると又登りになるが、今までと違い、視界が開けるため適当に景色も楽しめ、風も少しあり、快適なハイキングとなる。気分最後の坂を登り切ると、中峠方面との分岐になり、そこから北へ平坦な道を100m程度行ったところが山頂だ。

山頂は、人盛りになっているため、少し離れた場所でコンビニおむすびを食べる。360度の展望のきく場所なのだが、依然として曇り空の為、琵琶湖もくすんでしか見えない。

長く居ても仕方ないので、分岐からコヤマノ岳を向かうルートを取る。最初に急な下りがあるが直ぐに下りきる。少し行くとイブルキノコバ方面の道にでる。ルートとしてはこちらの方が歩き易く雰囲気もいいが、今日はそこから少し登り、コヤマノ岳手前から、昔のゲレンデ跡を真っ直ぐ下るルートを取る。少し歩き辛いものの、時間的にはこちらの方が少し早い。この下りの樹林帯の少ない場所から突然晴れて来て、暑さで汗が滴る。

一気に下ると八雲ヶ原だが、この時期、特段見るものもなく、ヤブ蚊が多いので足早に通り過ぎる。少し登りロープウェイ駅跡まで出て、ここで少し休む。ここは人も少なく琵琶湖の眺めもいいので休むのには丁度良い場所だ。そういう場所に着くと何故か天気が悪くなり、今ひとつ琵琶湖が綺麗に見えない。

そこから少し行くと北比良峠がある。ここへのルートは元の登山道が崩落しているため、少し登り迂回するルートになる。北比良峠からダケ道に入るが、このルートも展望は殆どない。やはり、ひたすら下りるだけになる。

大山口に出ると、後は車道と、それを避ける迂回登山道が比良駅まで続く。が、今度はカンカン照りになり、強烈な残暑の陽を浴びながらアスファルトの道を比良駅まで行く。

以上